事例No.	1741
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	神奈川県三浦市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・EBPM ・税財政

事例種類	その他

事例内容・タイトル

100年先を見据えた経営戦略と住民理解を得た料金改定の実施

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【神奈川県三浦市】
100年先を見据えた経営戦略と住民理解を得た料金改定の実施

その他　水道事業

神奈川県三浦市上下水道部

● 取組の概要

自己水源がない中で、100年先を見据えたアセットマネジメントに基づき経営戦略を策定するとともに、住民の理解を得ながら県内で１番高額の水道料金となる改定（26％増）を実現し、改定後も計画の未達成項目に係る広報を実施している。

◆総事業費　ビジョン策定委託料7,480千円、パンフレット印刷製本費　330千円

◆背景

- 当市は県内の平均的な水道料金を42.7％上回っており、周辺自治体への人口流出が進む中、料金改定に踏み切ることが出来ない状況にあった。
- また、自己水源がなく経費の削減も難しい状況にあったため、水道事業の厳しい現況や施設整備の必要性を可視化し、併せて住民に長期的な展望を示すこととした。

◆具体的内容

- 将来の広域化の検討も視野に入れ、100年先を見据えたアセットマネジメントとこれに基づく三浦市水道ビジョン（経営戦略）を策定するとともに、これらの取組及び市民向けの広報紙（年2回）の発行等を通じて住民理解を深め、県内で1番高額の水道料金となる改定（26％増）を実現した（コロナ禍の影響を鑑み、R4.７～R6.３は10％増、R6.4～は26％増と段階的に引き上げ）。
- ビジョン策定後は取組の進捗と成果を毎年度把握して目標未達成の事項を中心に広報紙において住民へ説明し、次年度の取組に活かすなど進捗管理を実施している。

◆効果

- 実現可能な施設整備について検討するため、詳細型のアセットマネジメントを行うことにより、料金改定の必要性について根拠数字をもって説明することができた。
- 当市の現況と広域化の意向について、関係者間での情報共有ができた。
- 料金改定に伴い、収益構造の改善が図られた（約26%の改善の見込み）。

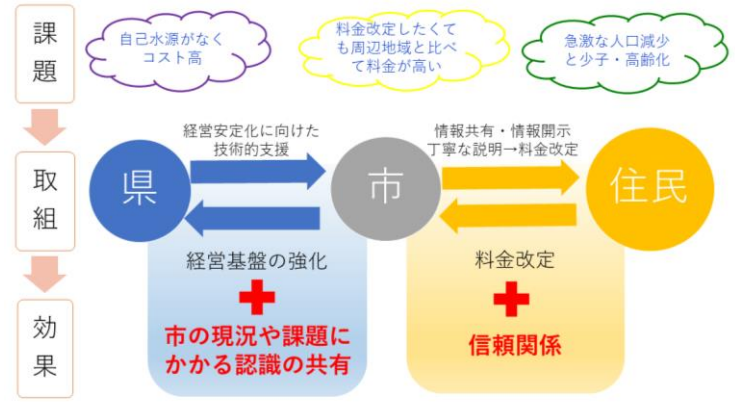
● 取組のポイント

- 経営戦略の策定や料金改定時だけでなく、進捗管理を通じて継続的に住民との情報共有を続けることで信頼関係が構築できた。
- 詳細型のアセットマネジメントの結果を用いることで、議会・住民からも理解を得るための根拠となり、また市の現況の意識の共有をすることができた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　41,817人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　31.44km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　41,568人（令和3年度決算）

事業イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成30年5月31日～令和3年3月31日（35回）
  三浦市営水道の課題解決に向けた検討会（県ほか）等
- 令和3年3月　アセットマネジメント及び三浦市水道ビジョン（経営戦略）完成
- 令和3年12月　料金改定に係る条例可決

● 今後の展望

- 広域化（統合）の検討を含め、経営基盤強化に取り組む。
- 今回の取組の成果について、近隣団体へ周知し、ノウハウを共有していく。